

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	鱈ヶ崎・思井地区土地区画整理事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	西平井・鱈ヶ崎地区土地区画整理事務所					
施 策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	秋元 敏男					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	鱈ヶ崎・思井地区内住民	意図	公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指す。
事業内容	「宅鉄法」に基づき、鉄道整備と宅地開発を一体的に計画・整備するものであり、土地区画整理事業により道路、公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図ることにより、地区内住民の生活利便性の向上を目指すものである。			
事業開始から現在までの状況変化	既存緑地の保全を中心とした事業計画の見直しを行ない、平成25年2月に当初の区域を縮小した西平井・鱈ヶ崎地区と区域から分離し、新たに鱈ヶ崎・思井地区として2地区に分けて施行することとした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	事業進捗率	51.10	71.90	81.90	%	↑↑↑
②	仮換地指定率	71.90	95.60	98.70	%	↑↑↑	年度末仮換地指定面積／事業計画面積	
③	道路整備延長率	10.30	10.30	29.30	%	↑↑↑	年度末整備延長／事業計画延長	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果		工事着手のために、家屋移転1件、工作物移転3件を行い、事業進捗を図った。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・工事に先立ち、埋蔵文化財調査を行った。 ・工事着手に必要な、家屋移転等を行い事業進捗を図った。 ・財源確保のための保留地販売を促進した。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		841,606,560	805,105,276	832,723,584				
事業費(b)(円)		817,609,460	782,076,626	812,684,034				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		23,997,100	23,028,650	20,039,550				
人役・職員(人)		2.87	3.01	2.80				
人役・再任用(人)		1.00	1.00	0.50				
人役・臨職(人)				0.05				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	関係権利者の合意形成。	③取組の課題	関係権利者の合意形成。 事業資金確保のための保留地販売。
②今年度(H29)に実施した取組	仮換地案で了解の得られた土地について仮換地指定を行ない家屋移転や工事を実施し、事業の促進を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	権利者合意を早急にて得、事業期間内完了を図る。 保留地販売促進を図るための宅地整備をさらに推進する。